

自己資本の構成に関する開示事項（2022年12月末）

【めぶきフィナンシャルグループ連結】

（単位：百万円、％）

項目	2022年 12月末	2022年 9月末
コア資本に係る基礎項目（1）		
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	860,488	858,784
うち、資本金及び資本剰余金の額	243,200	243,200
うち、利益剰余金の額	622,635	623,707
うち、自己株式の額（△）	5,347	2,181
うち、社外流出予定額（△）	—	5,942
うち、上記以外に該当するものの額	—	—
コア資本に算入されるその他の包括利益累計額	4,970	5,039
うち、為替換算調整勘定	—	—
うち、退職給付に係るものの額	4,970	5,039
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る新株予約権の額	62	62
コア資本に係る調整後非支配株主持分の額	—	—
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	698	684
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	698	684
うち、適格引当金コア資本算入額	—	—
適格旧非累積的永久優先株の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の四十五パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	1,787	1,788
非支配株主持分のうち、経過措置によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	6	6
コア資本に係る基礎項目の額（イ）	868,014	866,365
コア資本に係る調整項目（2）		
無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。）の額の合計額	9,598	10,094
うち、のれんに係るもの（のれん相当差額を含む。）の額	—	—
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	9,598	10,094
繰延税金資産（一時差異に係るものを除く。）の額	715	743
適格引当金不足額	8,630	9,222
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	—	—
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	—	—
退職給付に係る資産の額	24,466	24,016
自己保有普通株式等（純資産の部に計上されるものを除く。）の額	460	485
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	—	—
少数出資金融機関等の対象普通株式等の額	—	—
特定項目に係る十パーセント基準超過額	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—
うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額	—	—
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—
うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額	—	—
コア資本に係る調整項目の額（ロ）	43,871	44,562
自己資本		
自己資本の額（（イ）－（ロ））（ハ）	824,143	821,803
リスク・アセット等（3）		
信用リスク・アセットの額の合計額	6,804,105	6,888,394
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	△1,154	△1,153
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	—	—
うち、上記以外に該当するものの額	△1,154	△1,153
マーケット・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	—	—
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	367,531	367,531
信用リスク・アセット調整額	—	—
オペレーショナル・リスク相当額調整額	—	—
リスク・アセット等の額の合計額（ニ）	7,171,636	7,255,925
連結自己資本比率		
連結自己資本比率（（ハ）／（ニ））	11.49	11.32

【常陽銀行連結】

(単位：百万円、%)

項目	2022年 12月末	2022年 9月末
コア資本に係る基礎項目 (1)		
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	546,504	544,603
うち、資本金及び資本剰余金の額	144,818	144,818
うち、利益剰余金の額	402,824	404,084
うち、自己株式の額 (△)	—	—
うち、社外流出予定額 (△)	1,139	4,300
うち、上記以外に該当するものの額	—	—
コア資本に算入されるその他の包括利益累計額	5,849	5,944
うち、為替換算調整勘定	—	—
うち、退職給付に係るものの額	5,849	5,944
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る新株予約権の額	—	—
コア資本に係る調整後非支配株主持分の額	—	—
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	0	0
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	0	0
うち、適格引当金コア資本算入額	—	—
適格旧非累積的永久優先株の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の四十五パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	1,787	1,788
非支配株主持分のうち、経過措置によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	554,142	552,336
コア資本に係る調整項目 (2)		
無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。）の額の合計額	4,845	4,945
うち、のれんに係るもの（のれん相当差額を含む。）の額	—	—
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	4,845	4,945
繰延税金資産（一時差異に係るものを除く。）の額	4	—
適格引当金不足額	8,241	8,482
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	—	—
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	—	—
退職給付に係る資産の額	6,113	6,109
自己保有普通株式等（純資産の部に計上されるものを除く。）の額	458	484
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	—	—
少数出資金融機関等の対象普通株式等の額	—	—
特定項目に係る十パーセント基準超過額	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—
うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額	—	—
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—
うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額	—	—
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	19,663	20,022
自己資本		
自己資本の額（（イ）－（ロ）） (ハ)	534,478	532,313
リスク・アセット等 (3)		
信用リスク・アセットの額の合計額	3,962,484	4,032,848
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	△1,154	△1,153
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	—	—
うち、上記以外に該当するものの額	△1,154	△1,153
マーケット・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	—	—
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	215,150	215,150
信用リスク・アセット調整額	—	—
オペレーショナル・リスク相当額調整額	—	—
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	4,177,635	4,247,998
連結自己資本比率		
連結自己資本比率（（ハ）／（ニ））	12.79	12.53

【常陽銀行単体】

(単位：百万円、%)

項目	2022年 12月末	2022年 9月末
コア資本に係る基礎項目 (1)		
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	524,502	522,963
うち、資本金及び資本剰余金の額	143,687	143,687
うち、利益剰余金の額	381,954	383,576
うち、自己株式の額 (△)	—	—
うち、社外流出予定額 (△)	1,139	4,300
うち、上記以外に該当するものの額	—	—
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る新株予約権の額	—	—
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	—	—
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	—	—
うち、適格引当金コア資本算入額	—	—
適格旧非累積的永久優先株の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の四十五パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	1,586	1,586
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	526,088	524,550
コア資本に係る調整項目 (2)		
無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。）の額の合計額	4,751	4,852
うち、のれんに係るものの額	—	—
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	4,751	4,852
繰延税金資産（一時差異に係るものを除く。）の額	—	—
適格引当金不足額	12,044	12,302
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	—	—
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	—	—
前払年金費用の額	3,780	3,864
自己保有普通株式等（純資産の部に計上されるものを除く。）の額	458	484
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	—	—
少数出資金融機関等の対象普通株式等の額	—	—
特定項目に係る十パーセント基準超過額	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—
うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額	—	—
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—
うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額	—	—
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	21,034	21,502
自己資本		
自己資本の額 (イ) - (ロ)	505,054	503,047
リスク・アセット等 (3)		
信用リスク・アセットの額の合計額	3,957,553	4,030,283
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	△1,590	△1,589
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	—	—
うち、上記以外に該当するものの額	△1,590	△1,589
マーケット・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	—	—
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	211,105	211,105
信用リスク・アセット調整額	—	—
オペレーショナル・リスク相当額調整額	—	—
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	4,168,658	4,241,388
自己資本比率		
自己資本比率 (イ) / (ニ)	12.11	11.86

【足利銀行連結】

(単位：百万円、%)

項目	2022年 12月末	2022年 9月末
コア資本に係る基礎項目 (1)		
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	340,740	338,285
うち、資本金及び資本剰余金の額	135,000	135,000
うち、利益剰余金の額	205,740	206,285
うち、自己株式の額 (△)	—	—
うち、社外流出予定額 (△)	—	3,000
うち、上記以外に該当するものの額	—	—
コア資本に算入されるその他の包括利益累計額	△1,885	△1,946
うち、為替換算調整勘定	—	—
うち、退職給付に係るものの額	△1,885	△1,946
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る新株予約権の額	—	—
コア資本に係る調整後非支配株主持分の額	—	—
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	0	0
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	0	0
うち、適格引当金コア資本算入額	—	—
適格旧非累積的永久優先株の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の四十五パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
非支配株主持分のうち、経過措置によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	6	6
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	338,861	336,346
コア資本に係る調整項目 (2)		
無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。）の額の合計額	4,522	4,912
うち、のれんに係るもの（のれん相当差額を含む。）の額	—	—
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	4,522	4,912
繰延税金資産（一時差異に係るものを除く。）の額	4	3
適格引当金不足額	5,442	5,604
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	—	—
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	—	—
退職給付に係る資産の額	18,516	18,067
自己保有普通株式等（純資産の部に計上されるものを除く。）の額	—	—
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	—	—
少数出資金融機関等の対象普通株式等の額	—	—
特定項目に係る十パーセント基準超過額	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—
うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額	—	—
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—
うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額	—	—
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	28,487	28,588
自己資本		
自己資本の額（（イ）－（ロ）） (ハ)	310,374	307,758
リスク・アセット等 (3)		
信用リスク・アセットの額の合計額	2,775,789	2,790,995
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	—	—
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	—	—
うち、上記以外に該当するものの額	—	—
マーケット・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	—	—
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	149,521	149,521
信用リスク・アセット調整額	—	—
オペレーショナル・リスク相当額調整額	—	—
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	2,925,311	2,940,517
連結自己資本比率		
連結自己資本比率（（ハ）／（ニ））	10.60	10.46

【足利銀行単体】

(単位：百万円、%)

項目	2022年 12月末	2022年 9月末
コア資本に係る基礎項目 (1)		
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	340,206	337,761
うち、資本金及び資本剰余金の額	135,000	135,000
うち、利益剰余金の額	205,206	205,761
うち、自己株式の額 (△)	—	—
うち、社外流出予定額 (△)	—	3,000
うち、上記以外に該当するものの額	—	—
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る新株予約権の額	—	—
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	—	—
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	—	—
うち、適格引当金コア資本算入額	—	—
適格旧非累積的永久優先株の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の四十五パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	340,206	337,761
コア資本に係る調整項目 (2)		
無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。）の額の合計額	4,521	4,909
うち、のれんに係るものの額	—	—
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	4,521	4,909
繰延税金資産（一時差異に係るものを除く。）の額	—	—
適格引当金不足額	5,492	5,646
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	—	—
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	—	—
前払年金費用の額	20,400	20,012
自己保有普通株式等（純資産の部に計上されるものを除く。）の額	—	—
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	—	—
少数出資金融機関等の対象普通株式等の額	—	—
特定項目に係る十パーセント基準超過額	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—
うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額	—	—
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—
うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額	—	—
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	30,413	30,568
自己資本		
自己資本の額（(イ)－(ロ)） (ハ)	309,792	307,192
リスク・アセット等 (3)		
信用リスク・アセットの額の合計額	2,777,335	2,792,419
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	—	—
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	—	—
うち、上記以外に該当するものの額	—	—
マーケット・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	—	—
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	146,362	146,362
信用リスク・アセット調整額	—	—
オペレーショナル・リスク相当額調整額	—	—
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	2,923,698	2,938,781
自己資本比率		
自己資本比率（(ハ)／(ニ)）	10.59	10.45